「男と女」
(man and woman)
20240713

雄と雌
(male and female)

縄文時代以前には乱交状態？

sexには作法が必要となる

きまり、倫理、宗教

男はエロス、女は精神でくい違う

旧約聖書→アダムとイブ→智慧の木の実を食べ恥ずかしさを知って楽園を追放

古事記→イザナミ、イザナギの性交と国生みの物語

男女の欲望がおおらかに歌われている

イブは出産の「苦しみ」を原罪として背負う

性ということの生物としての認識はあったか

「性と生」には強いつながりがある

中世の魔女狩り→男尊女卑

性欲は年齢が上がるとむしろ強くなる（老人）

なぜ男と女がいるか

生物としての生殖

sexは快感、快楽

性交しても子どもができない工夫→快感、快楽のみを求める

生きる力をもらう、癒しを求める

生理痛、出産の「苦しみ」、命を落とす危険

雄と雌の生殖行動は生き物としての前提

社会→人間のきまり、知恵、倫理→ことば

男と女（人間）となる

女に生まれてきたのではない、女になるのだ

「男と女」は幻想にすぎない

男らしさ、女らしさ

入り口は見た目、癒し、菩薩のような

「よい男、よい女」とは？

価値観の問題

小さい時から見る目が作られる

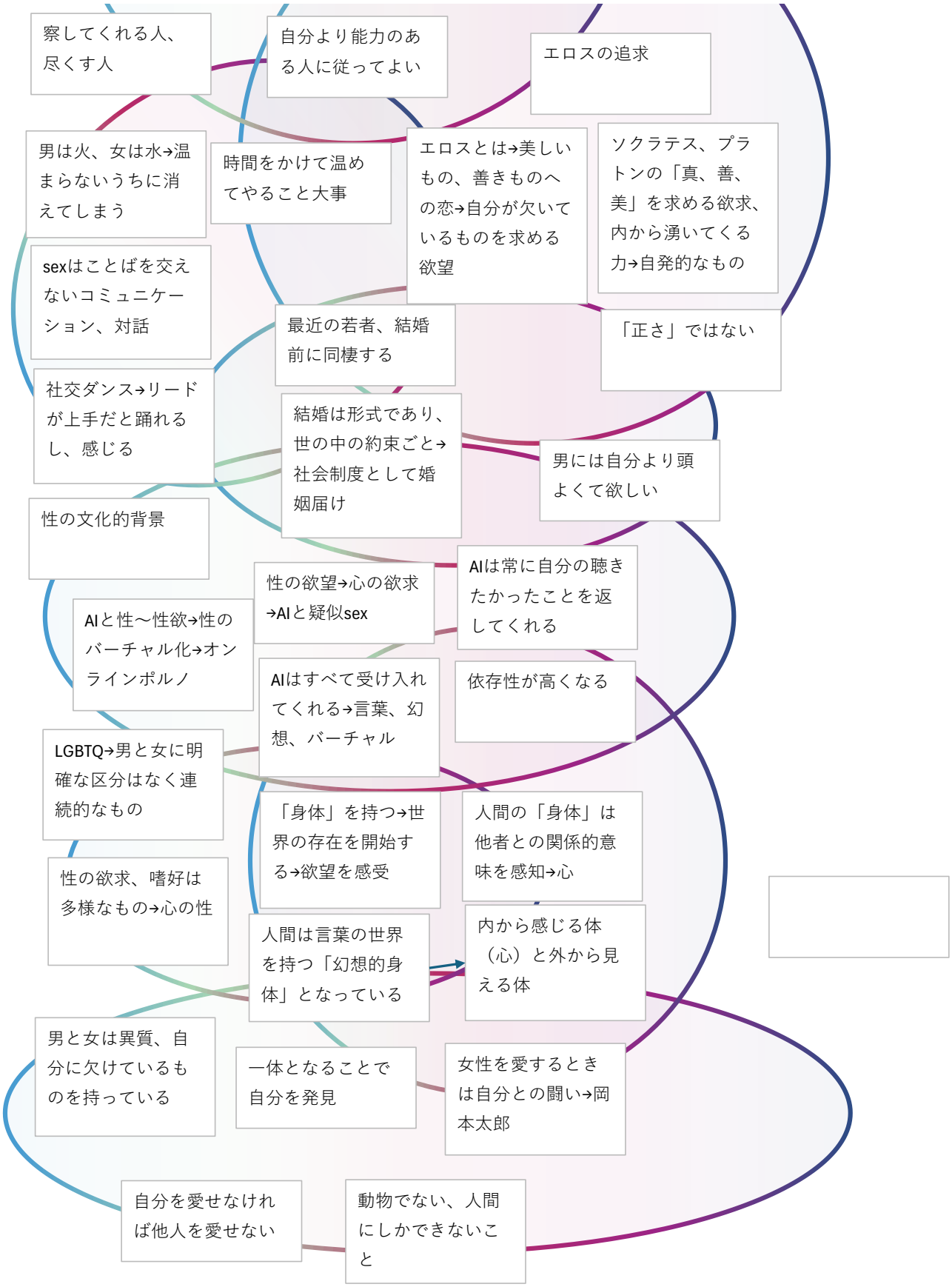
見た目、従順さ

男は誠実がいちばん

顔のつくり、顔つき→顔つきが重要

貌つきには心が現れる→心のあり方

女性の化粧→「美しく」見せるため、求められる


察してくれる人、尽くす人
自分より能力のある人に従ってよい
エロスの追求
男は火、女は水→温まらないうちに消えてしまう
時間をかけて温めてやること大事
エロスとは→美しいもの、善きものへの恋→自分が欠いているものを求める欲望
ソクラテス、プラトンの「真、善、美」を求める欲求、内から湧いてくる力→自発的なもの
sexはことばを交えないコミュニケーション、対話
最近の若者、結婚前に同棲する
「正さ」ではない
社交ダンス→リードが上手だと踊れるし、感じる
結婚は形式であり、世の中の約束ごと→社会制度として婚姻届け
男には自分より頭よくて欲しい
性の文化的背景
性の欲望→心の欲求→AIと疑似sex
AIは常に自分の聴きたかったことを返してくれる
AIと性〜性欲→性のバーチャル化→オンラインポルノ
AIはすべて受け入れてくれる→言葉、幻想、バーチャル
依存性が高くなる
LGBTQ→男と女に明確な区分はなく連続的なもの
「身体」を持つ→世界の存在を開始する→欲望を感受
人間の「身体」は他者との関係的意味を感知→心
性の欲求、嗜好は多様なもの→心の性
人間は言葉の世界を持つ「幻想的身体」となっている
内から感じる体（心）と外から見える体
男と女は異質、自分に欠けているものを持っている
一体となることで自分を発見
女性を愛するときは自分との闘い→岡本太郎
自分を愛せなければ他人を愛せない
動物でない、人間にしかできないこと